



大津市浜町1-38  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-525-5232  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
http://www.biwa.ne.jp/ffs/  
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

# 深まる世界経済の不透明感 影響中小にも、問われる地銀の役割

## 第107回定期大会 年金者部会と交流会

滋賀銀行従業員組合は、10月19日守山市内で第107回定期大会を開催しました。大会には先輩組合員も加わっていたら20人が参加し、午後には開催された滋賀銀行従業員組合・年金者部会の総会には26人が集まり、総会終了後に合同の交流会を開催しました。

中島執行委員長は挨拶で、「日本経済の引き続き深刻な状況は変わらず、戦後最高値を更新した円高は輸出大企業だけでなく、下請け等の中小企業にも大きな影響を与えている。また、民主党は個人消費が伸び悩むなか、社会保障の充実や国家財政の健全化のためとして消費税の引き上げや復興増税を打ち出しており、TPP問題等も予断を許さない。

一方、米国は、リーマンショック後にオバマ政権が多額の財政出動をして景気高揚に取り組んだが、ここへ来て失速懸念が一段と増しており、欧州でも、財政問題から先行き不透明感が高まっている。東日本大震災への政府の対応などを通じて人々の意識は変化しつつあり、私たちが、こうした国民意識の



提案する澤井副委員長

### 近畿地協第6回定期大会 若い代議員の現場からの発言に 盛り上がった討論

#### 職場の声を大切に要求実現

10月29日東大阪において金融労連近畿地協は第6回定期大会を開催しました。この大会には代議員・オブザーバーなど36人が参加し、滋賀からは中島委員長など4名が参加しました。大会の討論では10人の代議員から発言がありま



近畿地協定期大会で発言する中島執行委員長

したが、特に若い仲間から現場の声など多様な意見が上がり、盛り上がるのである。また、中島委員長は以下の発言をしました。私たちは、年2回の大会で出された意見に基づいていくつかの項目で要求を実現してきました。なぜ実現できなかったのか。その理由はおもに2つあると

考えています。1つは組合運動の基本である労働者の「声」を基にして、闘いをしていくからです。経営者も労働者の「声」があるからこそ、要求を無視できないのだと思います。この基本的な立場は、これからも堅持していきたいと考えています。2つめは、労働者の声だからこそ、交渉の取り組み方にも力が入ります。経営の間でも正論で対峙しますので、理論では組合が負けることはほとんどありません。労働者全体のために運動を進めることで、組合の枠を超えた次元の高い到達点を実現することも可能だと思います。



第10回年金者部会総会の模様

### 職場の声

#### 採用数の歪み少なく

この前研修に参加したとき、講師が言っておられたのですが、不況で採用が少ない年の人の年齢が40歳前後らしいです。少ない人の中で銀行の大事な仕事を引き継ぐ人が少ないと経営によくないと思います。途中で辞める人もあるから、不況だからといって採用を減

#### みんな心配しています

最近、若い男性が退職されました。理由はともかく子どもも奥さんもおられると思います。詳しくは知りませんが生活どうするのかなど心配だと、女性の間で話題になっていきます。



来賓挨拶をされる岡野地協議長

教育を変えようとしているのが犠牲になるのは子どもと住民だ。また、職場では成果主義を根源として問題が多発している。顧客や従業員の顔が見えないのは地銀経営でない。人間を大切にすることを組合の出番だ」と結びました。

### 第10回年金者部会総会



挨拶をする和田部会長

### 経営姿勢の変化に 心配する意見多数

討論の中で、先輩組合委員は、「最近、滋賀銀行は地域に協力しないという噂が広がっている、経営の視点が変わってきたのか」「何人かから取引を他行に移し無視できないのだと思います。この基本的な立場は、これからも堅持していきたいと考えています。2つめは、労働者の声だからこそ、交渉の取り組み方にも力が入ります。経営の間でも正論で対峙しますので、理論では組合が負けることはほとんどありません。労働者全体のために運動を進めることで、組合の枠を超えた次元の高い到達点を実現することも可能だと思います。」

### 顧客や従業員の顔が見える地銀経営を！

岡野近畿地協議長は来賓挨拶で、「大阪市長選をめぐり動きを、数の力で公務やから地域金融機関が果たすべき役割を今一度見直し、広く訴えていくことが大切だ」と述べました。



開会を宣言する八軒執行委員

労働者の意識も変わりつつあり、私たちも変りつつあり、私たちがもつ考え方を変え、長期的な視点から地域金融機関が果たすべき役割を今一度見直し、広く訴えていくことが大切だ」と述べました。

大会になりました。また、中島委員長は以下の発言をしました。私たちは、年2回の大会で出された意見に基づいていくつかの項目で要求を実現してきました。なぜ実現できなかったのか。その理由はおもに2つあると

考えています。1つは組合運動の基本である労働者の「声」を基にして、闘いをしていくからです。経営者も労働者の「声」があるからこそ、要求を無視できないのだと思います。この基本的な立場は、これからも堅持していきたいと考えています。2つめは、労働者の声だからこそ、交渉の取り組み方にも力が入ります。経営の間でも正論で対峙しますので、理論では組合が負けることはほとんどありません。労働者全体のために運動を進めることで、組合の枠を超えた次元の高い到達点を実現することも可能だと思います。」